

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	0	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	1 子どもたちの体力向上			

事業名		社会体育一般事業					SDGs		3、17		
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	スポーツへの関心を高めます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		3,212			7,260 226%			7,284 100%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	0			2,640 0			0 0%			
	一般財源	3,212			4,620 144%			7,284 158%			
職員数(人)		1.71			1.35 79%			1.35 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		東浦マラソン参加者数									人
		-	-	-	-	-	-	1,076	1,500	72%	
指標②											
主な事業内容		①東浦マラソンの実施(12月第3日曜日、あいち健康の森公園メイン会場) ②ランニングイベント(大府市、愛三工業と合同)の実施(7月中学生以上、3月小学生以下) ③全国大会等出場者に対する激励金交付事業の実施 ④スポーツ協会への補助金の交付 ⑤スポーツ少年団事務局の運営									
成果		以下のとおり実施し、スポーツ環境の充実を図ることができました。 ①参加者【2020: 中止、2021: 中止、2022: 1,076人】 ②【2020: 7月中止、3月中止 2021: 7月13人、3月44人 2022: 7月11人、3月雨天中止】 ③【2020: 個人21人、団体1件(12万円) 2021: 個人34人、団体1件(28万円) 2022: 個人99人】 ④スポーツ協会16部へ227万8千円(2021: 227万8千円)の交付 ⑤スポーツ少年団13団へ19万5千円(1団15,000円)の交付									
課題		・東浦マラソンの大会準備等の運営に係る業務が、長期的であり、事務局に大きな負担がかかっています。 ・7月のランニングイベント(大人向け)は、参加者が低迷しています。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団の登録者数が減少しています。									
評価視点								総合評価			
必要性				有効性				効率性			
		○			○			○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性								事業の改善点・今後の具体的な取組等			
成果の方向性	拡充							・東浦マラソンについて、企画運営業務や参加者増加取組等、他市町の実施方法を研究します。			
	現状維持			○				・7月のランニングイベントについては新たに対象となった中学生の参加を増やすため、中学校に申込案内を直接配布を依頼します。			
	縮小							・2023年9月から、学校部活動において休日の活動がなくなるため、休日のスポーツ活動の選択肢の一つとして、スポーツ協会やスポーツ少年団の競技団体に、中学生の受け入れができるよう働きかけます。			
	廃止										
		削減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	0	頁	
	施策	2 スポーツ振興			取組	2 高齢者の運動による健康への意識醸成						
事業名		スポーツ推進委員事業					SDGs	3、17				
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ推進委員										
	どのようにしたいか(意図)	住民:スポーツ推進委員が指導するイベントに参加することで、健康意識及び体力を向上させます。 スポーツ推進委員:スポーツに関する知識・経験を深め、研修会を行うなど、住民に広くスポーツを推進させます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		1,587			2,499 157%			2,625 105%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	1,587			2,499 157%			2,625 105%				
職員数(人)		0.80			0.52 65%			0.52 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		スポーツイベント参加者数									人	
		-	-	-	103	380	27%	487	380	128%		
指標②		みんなでスポーツを楽しむ会 開催回数									回	
		77	144	53%	103	144	72%	133	144	92%		
主な事業内容		・毎月開催するスポーツ推進委員定例会や部会活動により、地域のスポーツ振興に寄与できるよう委員の資質向上を図っています。 ・スポーツイベントの開催(モルック体験会、カローリングを楽しもう、体力測定会、スポーツフェスタ、ウォーキングを楽しもう) ・みんなでスポーツを楽しむ会(各地区でのスポーツ推進活動)の開催 ・知多北地区スポーツ連絡協議会事業の実施(東海市、大府市、知多市との協働事業)										
成果		・住民の健康増進の意識を高め、体力向上に寄与しました。 ・スポーツイベント開催回数:モルック体験会4回、カローリングを楽しもう1回、体力測定会1回、スポーツフェスタ1回、ウォーキングを楽しもう1回 (参加人数:モルック体験会延べ156人、カローリングを楽しもう60人、体力測定会78人、スポーツフェスタ188人、ウォーキングを楽しもう5人) ・みんなでスポーツを楽しむ会開催回数:133回 (開催回数内訳 卯ノ里小:30回、片葩小:34回、生路小:20回、藤江コミュニティセンター:49回)										
課題		・趣味や娯楽が多様化しているため、スポーツイベントの参加状況を踏まえ、住民のニーズに合わせたスポーツイベントを開催する必要があります。 ・みんなでスポーツを楽しむ会の参加者が固定されてきているため、新規参加者を増やす必要があります。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討		
		○				○			○		B	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充										・住民の参加状況を踏まえ、ウォーキングを楽しもうの代わりにモルックのイベントを拡大し、新たに試合形式のイベントも開催するなど、多様なニーズに対応していきます。 ・みんなでスポーツを楽しむ会について、回覧板やイベント時の周知、学校へのチラシ配布など、広報活動を強化し、新規参加者を増やします。	
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	0 頁		
	施策	2 スポーツ振興			取組	1 子どもたちの体力向上						
事業名		生涯スポーツ振興事業				SDGs		3, 17				
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ団体、スポーツ指導者										
	どのようにしたいか(意図)	運動の機会を増やし、体力を向上させるとともに、運動による健康増進への意識を高めます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		1,731			1,833 106%			1,957 107%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	415			540 130%			502 93%				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	1,316			1,293 98%			1,455 113%				
職員数(人)		0.49			0.29 59%			0.29 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①		スポーツ教室の受講者数								人		
		-	-	-	171	280	61%	212	280		76%	
指標②		スポーツ指導者養成講習会への延参加者数								人		
		100	180	56%	73	180	41%	139	180		77%	
主な事業内容		・住民向けのスポーツ教室の実施 ・児童の体力向上プロジェクトの実施 ・中学校運動部活動に対する外部指導者派遣の実施 ・スポーツ指導者向けの講習会の実施 ・休日の学校部活動の地域連携・地域移行に向けた地域クラブの設立										
成果		・町内中学校の運動部活動に対して外部指導者18人を派遣することで、部員に対し専門的な指導ができ、学校部活動を充実させることができました。また、派遣先の中学校の教員の負担軽減につなげることができました。 ・スポーツ指導者養成講習会を実施することで、地域スポーツ指導者の素養を育むことができました。 ・学校と連携して、児童の体力向上プロジェクトを実施することで、学校と一体となって児童の意欲・体力の向上を図ることができました。また今後の課題や改善方法などについて共有することができました。										
課題		・スポーツ指導者養成講習会については、地域クラブの設立に向けて、中学生の指導に重点を置いた講座を開設する必要があります。 ・休日部活動の地域移行を推進するため、中学生がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保することが急務とされています。										
評価視点								総合評価				
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休止を検討			
低い やや低い やや高い 高い			低い やや低い やや高い 高い			低い やや低い やや高い 高い			A			
今後の方向性								事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充										・モラル、ハラスメント、救急法など、中学生の指導に実用的な講座を開設していきます。また、スポーツ教室について、他課等の事業と内容が重複等するものについては、見直しを図っていきます。 ・部活動の地域連携・地域移行に向けた地域クラブの設立について、2023年9月開始を目標とし、取組を進めます。	
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		増減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 4 年度)

事業名		生涯スポーツ振興事業		担当課	スポーツ課 スポーツ係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	スポーツ教室事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	1,237	1,032	縮小	縮小
2	児童の体力向上プロジェクト事業	住民	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	126	239	現状維持	現状維持
3	学校部活動外部指導者派遣事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の派遣をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実を図ります。	250	406	拡充	拡大
4	スポーツ指導者養成事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の育成をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実を図ります。	85	130	拡充	拡大
5	地域クラブ事業	住民(中学生)	スポーツに継続して親しむことができる機会を確保することで	スポーツに親しむきっかけづくりや、体力向上を図ります。	135	150	拡充	拡大
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,833	1,957	現状維持	現状維持

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 4 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	0	頁			
	施策	2 スポーツ振興		取組	4 スポーツ施設の整備							
事業名		体育館・はなのき会館管理事業			SDGs	11、17						
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	体育館、はなのき会館										
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)						
		27,623		70,817 256%		44,615 63%						
財源内訳	国・県支出金	0		7,404 0		0 0%						
	受益者負担	2,366		3,038 128%		3,102 102%						
	その他特定財源	323		574 178%		982 171%						
	一般財源	24,934		59,801 240%		40,531 68%						
職員数(人)		0.16		0.29 181%		0.29 100%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		体育館・はなのき会館延利用者数								人		
		48,658	72,000	68%	49,221	72,000	68%	73,307	72,000		102%	
指標②		-										
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、メディアス体育館ひがしうら及びはなのき会館の利用受付と維持管理を行います。										
成果		利用件数及び利用者数 体育館 2020:4,210件/46,734人 2021:3,719件/47,050人 2022:4,469件/67,772人 はなのき会館 2020:170件/1,924人 2021:219件/2,171人 2022:332件/5,535人 施設の維持・管理(修繕)件数 体育館100V回路増設修繕始め10件 施設の維持・管理(業務委託)件数 電気設備保守点検業務始め7件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安全・快適に利用できる状態が保持できました。										
課題		・施設、付帯設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・平日日中の利用割合が低い傾向にあります。										
評価視点							総合評価					
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討 B			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い		やや低い	やや高い	高い
			○				○					
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、近隣市町と比較しながら使用料や照明代の見直しについて検討します。 ・近隣高校の部活動や、社会人、プロチームの練習の場として利用してもらう仕組みを検討します。						
	現状維持			○								
	縮小											
	廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	0	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	3 スポーツ活動団体の育成			

事業名		学校体育施設スポーツ開放事業					SDGs		3、17		
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	身近でスポーツに親しみ、交流する場を提供します。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		645			511 79%			759 149%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	645			511 79%			759 149%			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	0			0 0			0 0			
職員数(人)		0.19			0.23 121%			0.23 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		学校開放登録団体数									団体
		104	100	104%	97	100	97%	101	100	101%	
指標②		-									
主な事業内容		町内の小中学校の体育館や運動場を学校教育の運営に支障のない範囲内で住民が利用できるよう開放しています。									
成果		既存団体を含め、空き状況を周知し新規登録団体の増加に努めました。									
			団体数(団体)	利用回数(回)	延べ利用者数(人)	登録者数(人)					
		2020	104	2,963	58,184	3,325					
		2021	97	3,307	65,599	3,483					
		2022	101	4,436	83,907	3,958					
課題		・延べ100団体ほどが活動しており、体育館、運動場等の施設・備品管理や、利用登録・利用中止などの事務処理が煩雑になっています。 ・休日部活動の地域連携・地域移行に伴い、現在の学校開放登録団体が利用できなくなる可能性があるため、事業内容の見直しが必要です。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討 B	
		○			○			○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				・学校や学校教育課と連携し、効果的・効率的な管理体制を強化します。 また、施設管理を紙台帳から電子システムに改め事務の効率化を図ります。 ・利用登録申請や利用報告などの手続きを電子申請システムに改めるなど、利用者の負担や事務処理時間の軽減を図ります。 ・2023年9月から、学校部活動において休日の活動がなくなるため、休日のスポーツ活動の選択肢の一つとして、登録団体に、中学生の受け入れができるよう働きかけます。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
					普減	縮小	現状維持	拡大			

令和 5 年度 事務点検・評価表

(評価対象年度:令和 4 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	0	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備			

事業名		グラウンド・コート管理事業						SDGs		11、17	
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	グラウンド・コート									
	どのようにしたいか(意図)	住民が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、維持管理を行います。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		44,225			19,955 45%			18,751 94%			
財源内訳	国・県支出金	1,188			0 0%			0 0			
	受益者負担	6,945			8,686 125%			7,900 91%			
	その他特定財源	13,323			167 1%			127 76%			
	一般財源	22,769			11,102 49%			10,724 97%			
職員数(人)		0.14			0.18 129%			0.18 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		グラウンド・コート延べ利用者数									人
		87,495	136,200	64%	109,281	136,200	80%	124,727	136,200	92%	
指標②		-									
主な事業内容		町内の以下の体育施設の維持管理を行います。 【管理施設】 町営第1グラウンド(愛称:メディアスひがしうら第1グラウンド)、町営第2グラウンド(愛称:メディアスひがしうら第2グラウンド)、文化広場テニスコート(愛称:メディアスひがしうらテニスコート)、町営南部グラウンド、町営北部グラウンド、町営西部グラウンド、岡田川テニス場、東浦みどり浜緑地多目的広場									
成果		利用件数及び利用者数 グラウンド 2020:1,782件/58,365人 2021:1,979件/69,343人 2022:2,346件/85,277人 テニスコート 2020:4,850件/29,130人 2021:6,036件/39,938人 2022:5,717件/39,450人 施設の維持・管理(修繕)件数 第1グラウンド防球ネット取替始め20件 施設の維持・管理(業務委託)件数 東浦みどり浜緑地多目的広場芝管理業務始め3件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できました。									
課題		・各施設において建物、附属設備の老朽化が進み修繕が多く発生しています。 ・構造物の大規模修繕、電工も関係する修繕・工事が増加することが想定されるため、工事を担当する職員の増員が必要です。 ・雑草や芝生の成長が早いため、グラウンド利用者が利用しにくい状況になっています。									
評価視点								総合評価			
必要性				有効性				効率性			
			○				○				○
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性								事業の改善点・今後の具体的な取組等			
成果の方向性	拡充							・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また近隣市町と比較しながら、使用料や照明代の見直しについて検討します。			
	現状維持			○				・工事に必要な設計書、図面(位置図、構造図)等の作成ノウハウのある職員の配置を要望します。			
	縮小							・町とスポーツ協会やスポーツ少年団等がグラウンド等の草刈りや清掃を行うことで、行政と協働で施設管理します。			
	休止										
		増減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 4 年度)

区分

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	0	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備			

事業名		ふれあいセンター管理運営事業				SDGs		11、17			
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	ふれあいセンター									
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		37,667			36,748 98%			74,110 202%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	2,131			2,616 123%			2,500 96%			
	その他特定財源	627			124 20%			94 76%			
	一般財源	34,909			34,008 97%			71,516 210%			
職員数(人)		0.11			0.12 109%			0.12 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		ふれあいセンター延べ利用者数									人
		44,514	83,000	54%	52,213	83,000	63%	64,198	83,000	77%	
指標②		-									
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、北部・西部ふれあいセンター、藤江コミュニティセンターの利用受付や維持管理を行います。									
成果		利用件数及び利用者数 北部 2020:1,028件/14,702人 2021:1,283件/18,934人 2022:1,396件/21,214人 西部 2020:1,348件/13,479人 2021:1,113件/15,319人 2022:1,188件/18,540人 藤江 2020:1,191件/16,333人 2021:1,247件/17,960人 2022:1,564件/24,444人 施設の維持・管理(修繕)件数 14件 施設の維持・管理(業務委託)件数 8件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に利用できる状態を保持できました。									
課題		・施設、付帯設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・平日日中の利用割合が低い傾向にあります。									

評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性				B	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性										事業の改善点・今後の具体的な取組等	
成果の方向性	拡充									・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・近隣高校の部活動や、社会人、プロチームの練習の場として利用してもらう仕組みを検討します。	
	現状維持										
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											